

# ゲーム再開における ガイドライン案

## 1 ゲームの設定・参加に当たっての留意点

---

- 本大会において、感染対策責任者を設置し統括を行う。
- 選手のみならず、保護者・関係者の中で、発熱・体調不良の者は、会場入りをしない。また、家族の中に同様な症状の方がいる場合も、会場入りを自粛してもらうようにする。
- 各チームは、会場にいたチーム関係者（選手・指導者・保護者）一覧を把握しておく。
- 自家用車での移動が伴う場合、複数の家族での同乗を行わないようにする。
- 同じ会場に、多くのチームが長時間いることは避ける。（半日4チーム程度）
- 会場に入る者は、全てマスク着用とする。
- 飲水用のボトルやタオルは、各自個人持ちとする。（ボトル内に残ったものは持ち帰る。）
- ドリンクを冷やすための水や氷を入れたクーラーボックスなどは使用しない。
- ゴミの持ち帰りは、各自の責任で行う。
- 飲食は周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。
- 応援する保護者にも十分な間隔（十分な間隔とは、2メートル。最低1メートル。以下同様。）を取ってみていただく。大きな声での声援は控えていただく。（各チームから周知）
- 会場のトイレや水道など複数の人間が触れる可能性のある場所については、使用前、使用后、必ず手指消毒を行ってから使用する。
- ミーティングや待機の際は、間隔をあけるようにする。（暑熱対策用のテントやターフについては、密にならないようにする。）
- テーブルや椅子等、複数の関係者が触れると思われるものは、使用前、使用后、消毒を行う。個人で用意できるものは各自で用意し、共有をなるべく避ける。
- 健康チェックシートを作成し、各チームで管理を行い、直ぐに感染対策責任者に提出できるようにしておく。
- 担架で救護する際は、必ずマスク、手袋、ガウン、フェイスシールドを着用する。
- 試合終了後はまっすぐ帰宅し、着替え、シャワーを浴びることが望ましい。

## 2 ゲームにおける留意点

---

- 各チームテントにはアルコール消毒液を設置し、試合前、試合後には、手洗い・消毒ができる体制作りを行う。
- ゲーム前のセレモニーは、十分に間隔をあける。（あいさつの声や握手は行わず礼のみとする。）
- 控え選手は、マスク着用で、十分な間隔を取ってベンチで控える。十分な間隔が確保できている場合はマスクを外しても可。ベンチ外も可とする。
- ゲーム中の選手の体調に十分留意し、変調が見られた場合は、速やかに帰宅させる。
- 雨天時や低温時は、選手の抵抗力が低下することが考えられるので、ゲームを中止とする。
- 唾・痰・うがいした水等をグラウンドなどにはかない。

## 3 感染者が出た場位位の留意点

---

- チームから感染者が出た場合は、各保健所の指示のもと、速やかに試合相手のチームや同会場にいたチームへ連絡を行う。